



▲昭和43年5月に撮影された写真
お釈迦様の象徴である張り子の白象は今より少し
細身な印象

「人形小路花まつり」のようす。金管
バンドの先導で、賑やかに行われる。▶
(写真は平成26年)



「白象のパレード」(人形小路花まつり)

吉浜駅からつながる約800mの「人形小路」。

地域の伝統文化である「吉浜細工人形」(県指定無形文化財)を沿道に常時展示するものとして誕生してから、約10年がたった。例年5月には「人形小路花まつり」が開催され、吉浜小学校の金管バンドに先導されて、張り子で作られた白象が子どもたちに曳かれ賑やかにまちを行く。

この白象のパレードは、人形小路を舞台に四季折々の行事を開催している「人形小路の会」が、平成18年、約40年ぶりに復活させた。もともと吉浜地区では「花の塔」(仏誕祭)の際、張り子の白象を引いて練り歩く行事が戦前から続いていたが、いつしか途絶えていたのだった。

「人形小路の行事は、地元の文化を誇りに思ってもらいたい、いろいろな世代が関心を持って参加してほしい、というのが願い。白象は、この地域に育った私たちには思い出深いもの。本来とは少し違う形での再登場だが、歴史がよみがえり、新たな歴史を多くの人々の協力で作り出せてよかったなと思いました。」と、人形小路の会・内藤皓嗣会長は語ってくれた。

再開当初、沿道で高齢の方が懐かしいねと涙を流す姿もあった。人形小路のもうひとつの顔は高齢の方にも安心して歩いてもらえるしかけのある道。矢羽根模様の舗装や、目の高さに据えられた案内標識にも注目していただきたい。

“撮っておき” の たかはま

【第83回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、
有形・無形を問わず、
高浜市の日常の暮らしの中にある
とっておきの「お宝」を紹介します。

高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育てため、「高浜市が育てていきたい子どもの姿」をこのコーナーで紹介していきます。

6月〈前向きに取り組む子〉

- 〈めざす年長児〉いろいろなことに興味・関心を持ち、やってみます。
- 〈めざす小6生〉友達の考えを大切に、自分の意見をわかりやすく伝えます。
- 〈めざす中3生〉友達に考えを聞いて、自分の考えに生かします。



高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト

いきいき広場内教育センターグループ ☎52-1111 (内線311)

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語は17ページ

早期配布にご協力ください。